



みなさま  
お元気ですか？

正田洋一事務所

〒723-0062 三原市本町 1-7-32

TEL 0848-63-0085 E-mail info@shoda-yoichi.jp

HP www.shoda-yoichi.jp

三原市市議会議員

第19号

# 正田洋一

## 議員レポート



挨拶

今回で19号目の発行となります。今回の号では、主に3月議会及び議員インターンプログラムの報告をさせていただきます。前号では、私の政策討論会である「政策カフェ」のご案内をさせていただきましたが、集合会議形式での開催が困難であることから、当面ライブ配信を基本とし、開催方法を変更させていただきます。

## コロナウイルス問題についての私の考えと行動について

2月頃から全世界で感染拡大し、猛威を振るっているコロナウイルスについて、現状、正直なところベストな解決策はわかりません。しかしながら、私の市議会議員という立場におきましては、市民の皆様の生活不安を少しでも軽減できるように行動させていただきたいと考えております。

皆さんが感じておられる課題などをお寄せください。三原市や広島県に要望、意見等を述べていきたいと思っております。また、市政に関する質問、疑問に関しては市にお伝えしたうえで、回答を致します。

現在、平時ではありません。多くのことができない、限界も多いと思っておりますが、できる限りのことをさせていただきたいと思っております。市民の皆様もできる感染防止策を十分に行っていただくことをお願いいたします。そんな中、社会全体が、ストレスフルで、SNSやTV等で繰り返されている、政治家と呼ばれる方たちの攻撃的発信、政治的パフォーマンスに私は関与したくないと思っています。SNS等による情報発信は控えます。

私は、私のFacebookの「政策カフェ」の非公開グループのSNSで、三原市の有益な情報のみ公開します。非公開グループへの入り方は、後ほどの紙面で説明します。

### 1. 予算特別委員会の委員長拝命

この度、初めて予算特別委員会の委員長をさせていただきました。副委員長は田中議員で、はじめてのタッグでした。私自身、委員長職は3回目です。議会広報特別委員会委員長、総務財務委員会委員長をさせていただきましたが、重責である年度予算を成立させるべく、いつもとは違う立場で、議会と理事者とのスムーズに審議を行う役でした。私なりにスムーズに委員会運営ができたと思います。

### 2. 総括質問

今回で通算28回目の質問です。いまだ皆勤は継続中。2期目、1期目の議員では私だけです。テーマは以下の2点。大変タイムリーな話題です。アフターコロナ(コロナウイルス問題終息後)の大きな課題と可能性につながるものです。

#### (1) 人口獲得提案について

人口獲得施策の提案については、主に2つの視点で質問をしました。一つ目は、今話題の「テレワーク」を取り上げました。といましてもコロナウイルス問題で話題となったテレワークですが、私は夏のころからインターンの学生さんと未来の働き方ということで「テレワーク」が社会構造に変化を起こし、地方にチャンスが来ると考えています。それを前提に質問をしています。

今後、一定程度の人口までテレワークが普及した場合、かならずしも会社に行くというだけが働き方のカタチではなくなる。働き方としてのテレワーク、企業のサテライトオフィスの誘致が地方の人口獲得の波になると考える。そこで2つを提案しました。

- ① テレワークの調査研究を行うこと
- ② 市役所の一部に導入を図ること

また、10年先まではこれまで通り企業誘致の戦いになるが、5年先からはテレワーカーやサテライトオフィスの誘致が都市の人口獲得の競争となる。準備しておくべきであると提案しました。

テレワークについて総務部長は、コロナウイルス対策も含め、庁内への導入の必要性の認識をもっている。研究を進めていくと答弁。移住を扱う経営企画部長は、本市が多様な働きかを選べる街になることは魅力になると理解し、人口減少対策の一つの方策を認識し、庁内各部署で横断的に検討を重ねていくと答弁がありました。

テレワークについては、私なりに調査研究を進めます。ちなみに私のサラリーマン時代に勤務したNTTドコモでは、テレワークが導入されていました。8年以上前です。この種の仕事の仕方は、海外の事例も含め、実は新しいことではありません。今後、働き方の世界は変わっていきます。政策カフェでも話題にしていきたいと思います。

次に質問したのは、人材育成についてです。人口問題を考えるとき、マスト(やらなくてはならない)施策と挑戦的施策がある。挑戦的施策は、人材育成で地域課題解決をできる人材をたくさん生み出す地域が、生き残ると考えています。人材育成プログラムでは過去に、高度社会人育成の「浮城塾」の提案、これから子どもたちのICT教育の推進などの提案を行ってきましたが、まだまだ人材育成のカタチはたくさんある。次にどんなものを考えているのかを聞きました。

人材育成プログラムについては、様々な検討を進めているが、具体的なものはあまり出てきませんでした。面白いキーワードとして、MBA教育(浮城塾)の強化、ICT教育の推進、駅前サテライトキャンパス、5G技術を使ったコンパクトシティの実証実験などが上がりました。5Gについては、短く説明するのが難しいのですが、5G技術がどのように社会を変えていくのか政策カフェ等で勉強会を開きたいと思います。



※MBA=経営修士 経営学をベースとした経営のプロフェッショナル人材を育成するプログラムの人材を証明する学位です。私も中央大学で学位を取得しています。  
※ICT=情報通信技術(Information and Communication Technology)通信技術を活用したコミュニケーションを指します。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称

## (2) 本郷に民間が建設予定の産業廃棄物最終処分場について

本郷の南方に建設予定の産業廃棄物最終処分場について聞きました。民間事業者から建設許可申請が出され、申請書に不備がなければ、許可される状況にあります。ただ、住民との合意形成はなされておられません。説明会も平成28年から開かれておりません。

この質問は2回目ですが、市長の政治家としての判断として、この民間企業に対し、「懸念を表明いただくこと」、「直接もしくはマスコミを通じて、建設中止、もしくは最低限、安全確保と住民の合意を得ることを求めること」でした。

前回の質問では、市長は、市民の声を反映すべく、市民の皆様とともに頑張ると答弁されています。何をどう頑張るつもりだったのかということを含めて質問をしました。しかし、直接対話も懸念表明も実現することは出来ませんでした。県を通じて指導するとの答弁でした。県を免罪符に使って逃げの一手を指摘しましたが、よい答弁をいただけませんでした。

この水源は、三原市民の大きな財産です。これを守るべき次のステージの手法に協力させていただきたいと思います。大変、申し訳なく思います。今後、住民の皆様とともにできることをやっていきたいと思っています。

なお、本件については、同封のちらしをご覧ください、よろしければ協力をお願いします。



## 報告

## 正田洋一の



### 議員インターンの受け入れ

議員インターンの受け入れを行いました。これはドットジェイピーという団体のインターンプログラムで県下29議員が受け入れを行っています。三原は、私他、県議2名が受け入れをおこなったようです。私は、今回で3回目となります。今回は3人の学生が来てくれました。私の事務所を希望してきてくれるのは大変うれしいことです。

今回は3つのプログラムを計画しましたが、コロナウイルス問題等もあり、十分に学生さんに良い機会を与えてあげられたのか思うところもありますが楽しくできました。

ドットジェイピーのテーマである「30年後の未来を創造し、10年後市長になったら場合の政策」コンテストですが、全国大会をめざしておりましたが、予選から書類審査。本選中止となり、正田洋一事務所の「政策カフェ」で披露および伊藤県議事務所と出原県議事務所と共同発表会を開催しました。テーマは「ときめくまち みはら」の提案、住みたいまち「現在と30年後」などです。今後の政策形式に生かせるものになりました。



最終日の集合写真



神明市でインタビュー



## 政策カフェについて

前回ご案内していた政策カフェは、ライブ中継で行います。  
会議は Facebook ライブを使用します。  
正田洋一事務所会場では、コロナウイルス対策期間は、開場いたしません。  
いつもご参加いただく方には申し訳ありませんが、ご理解をお願いします。  
次回の開催は5月12日・7月14日 19時から20時で行います。

### 参加方法

- ① Facebookで正田洋一に友達申請をお願いします。
- ② 政策カフェ会議案内をお送りさせていただきます。
- ③ 参加ボタンを押していただくと政策カフェグループ(プライベートグループ)に招待します。
- ④ 政策カフェ(プライベートグループ)に加入いただくと開催日の19時から見ることが可能です。
- ⑤ 発言はコメント欄をお願いします。
- ⑥ 次回は5月12日・7月14日時短1時間以内19時から20時で行います。

インターネットを使っていないという方もいらっしゃると思います。  
5月分については、次号の議員レポートで紹介いたします。



## 実現可能となった施策について ～危険なブロック塀対策～

危険なブロック塀対策につきまして、三原市ブロック塀等安全確保事業概要が、4月24日にホームページに掲載されました。防災等の観点からの安全確保のための制度です。本件については、市民の方から問題提起をいただき、会派で他都市の概要を調査の上、昨年議会提案し、今年度、新たに創設されることとなりました。本件でお困りの際にはご相談ください。担当課へつながせていただきます。

## 参議院選挙のその後

昨年7月の参議院選挙における選挙違反の疑いのニュースが広島県内の政界を駆け巡っています。私が応援させていただいた、溝手顕正先生が敗れた選挙のあと、河井陣営に行われた行為は報道の通りです。やっぱりそうだったのかと検察の捜査の状況を見れば違和感を持たれる方々が多いと思います。未だに全貌が明らかにされておりません。

私としては、捜査機関に事実解明をしていただき、早くやり直しをしていただきたいと願っています。また、三原市内の政治家においても複数の疑惑が上がっていますが、本件については、事実関係が正確に把握できていないため、現時点で、報道のあった疑惑についてのみ、会派から、市民の皆様へ説明責任を果たすよう申し入れを行いました。

選挙はフェアであるべき。またこのようなことが今後起こらないよう願うばかりです。

## 編集後記

今号については、コロナウイルス問題で大変な混乱のなか、発行し配布すべきか迷いましたが、日ごろの活動の報告であり、全てを郵送での対応させていただくことにいたしました。ぜひともお読みいただきご意見、ご指導等よろしくお願い申し上げます。